

青山コウヘイ

事務所ニュース

No.7 2017年2月1日



労働実態調査を実施!

1月21日、蒲田駅西口で、青山コウヘイ東京4区雇用と生活対策室長は、日本共産党大田区労働者後援会、青年後援会とともに、労働実態調査を行いました。

「あなたの働き方、ブラックではありませんか?」

クではありませんか」「あなたの働き方を聞かせてください」と語りかけながら対話を広げ、道行く方の注目を集めました。

青山コウヘイ東京4区

雇用と生活対策室長

同窓会などで同世代と話していると、「月に100時間も残業している。残業代が出ない」「職場でいじめられてつらい」など、必ずと言っていいほどブラックな働き方の話題が出てきます。いま、職場の状況は本当に深刻です。

宣伝に取り組んだ、労働者後援会、青年後援会のみなさんと、青山コウヘイ

今回の実態調査でも、「自分は会社を経営している側の人間だが、ブラックな働き方の問題はなんとかしなきゃいけないと思う」などと声をかけてくださる方がいらつしました。ブラックな働き方をなく

青山コウヘイ プロフィール

日本共産党、衆議院東京第4区(大田区の中南部)雇用と生活対策室長。1991年(平成3年)生まれ。現在25才。静岡県沼津市出身。中央大学法学部卒業。全日本学生自治会総連合(全学連)書記局、首都圏学生9条の会ネットワーク事務局などで活動。

一部の人の利益のために、大多数の人たちが苦しめられる政治を終わらせ、日本国憲法を守り生かし、若者が希望を持って暮らせる社会へ変えるため、日々奮闘中。

し、働く者が元気に暮らせる社会へ変えるため、全力で頑張ります。



ボードを使って、働き方について聞きたりを行う、青山コウヘイ

東京4区から青山コウヘイさんを国政へ

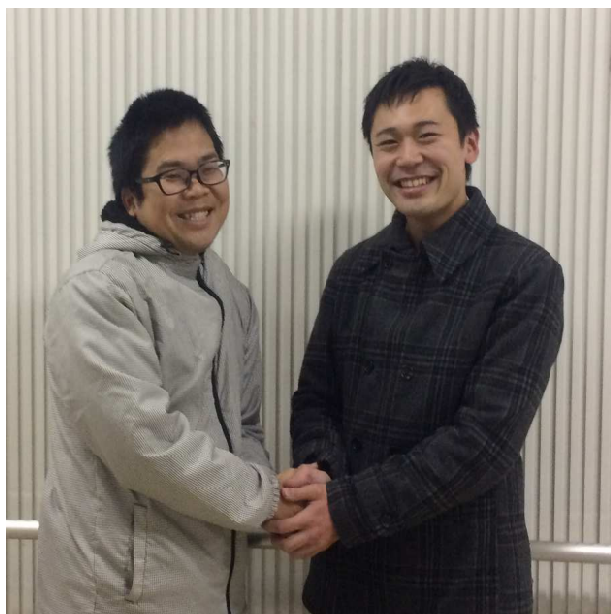
福祉保育労なんぶ支部

森 潤

コウヘイさんは私よりも若いのに国政を目指して活動をされていて、自分が同じ年齢の時に何をしていたのかと思うと本当に頼もしい青年です。

今、福祉保育の分野では介護保険除外しや年金給付削減など若者、青年が将来にも不安を感じる政治が続いています。

保育では2年前に市場化の進んだ制度が新たに始まりました。この新たな制度で、それまでの認可



握手する森さん（左）と青山コウヘイ（右）
(2016年12月)

福祉や保育の現場だけではない
厳しい働き方や高すぎる
学費に苦しみ、悩みを抱
える青年や学生の声。安
心して子育てできる環境
を望む子育て世代の声。
そして、安心できる社会
保障を求める声を、まっ
すぐ国会へ届けるために、
日々奮闘しているコウヘ
イさんを国会へ送り出す
ことに私も全力を注ぐ決
意です。

保育所の基準も緩和され、子ども達が育つ施設ごとの環境に大きな格差が生じています。この格差は子どもの命に直接関わるものです。この将来の社会を担う命に格差をつける保育政策の在り方は早期に変えていくべきです。
また福祉や保育の職場ではやりがいを感じていても厳しい実態に人手不足が深刻です。保育では人材確保の政策として、一定程度の処遇改善の政策がいわれはじめましたが、福祉全体へと強く進めていく必要があります。

《コウヘイ こらむcolumn》

街頭演説に使う、大きな布製のポスターを新しく作りました！

これは、共産党大田地区委員会の印刷機で印刷！金具の取り付け・調整も、地区委員会の実務をされている、本田純三さんにやっていただきました！

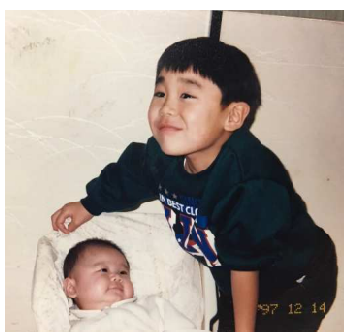
これを使うようになり、注目が増えたと感じています！

(青山コウヘイ)



新しい布製ポスターを使い、
街頭で訴える青山コウヘイ

青山コウヘイの25年⑦



6歳の時。生後3か月の弟と。

昂平(コウヘイ)が年長組の時に弟が生まれました。それまで口には出しませんでした。兄弟がいなくて寂しかったと思います。6歳離れて生まれて来た弟をとてかわいがってくれます。

自分はお兄ちゃんという自覚がでたのか、とてもショックして来ました。わがままもあまり言わない子で、我慢している事もあったと思います。

(母)